

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		090512 「もったいないの心」啓発事業(旧リサイクルふれあい館啓発運営事業)		担当部課	部課コード	090590	2994-5374	
事業コード		090512		資源循環推進課				
開始年度		平成 15 年度		終了年度		平成 年度		
グループ		リサイクルふれあい館						
事業の概要	事業の種類別	自治事務		法定受託事務		法定受託 + 附加		
	分野別計画・指針	環境基本計画、一般廃棄物処理基本計画、次世代育成支援行動計画						
	関連・類似事業	環境学習講座実施・支援事業(環境総務課)、温暖化対策啓発事業、環境情報提供事業、グリーン購入啓発事業(環境総務課)						
	根拠法令	循環型社会形成推進基本法、所沢市リサイクルふれあい館条例、所沢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例						
総合計画の体系	章	環境・自然	節	廃棄物の減量・資源の循環	基本方針	ごみの減量と資源化の推進		
事業開始の背景	ごみ減量及びリサイクル情報の発信拠点として、情報提供のための催事企画や館内展示を行うこととなった。旧リサイクル推進課で行っていた講座事業を継承するとともに、リサイクルふれあい館の新設に伴い、環境学習の拠点としてより多くの市民に環境に配慮した生活を啓発するため新しい講習会を開催し、定着を図ることとなった。							
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)							
	循環型社会形成に向け、3R(Reduce リデュース・発生抑制、Reuse リユース・再利用、Recycle リサイクル・再生利用)啓発のための企画・展示を行う。また、市民生活に3R実践のきっかけづくりとなる講習会を開催し定着を図る。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)							
	市民	対象数	単位	平成 26 年度	343,067	人	平成 27 年度	343,321
事業の具体的な内容及び実施方法								
小学4年生社会科見学等見学者の印象に残る館内展示(遊び心を取り入れた)わかりやすい解説で環境学習を充実する。催事の企画開催(エコロまつり、和服のもったいない市、出張もったいない市)等による市民へのPR事業。市民フェスティバル等への積極的参加によるPR活動。館内展示のほか、ホームページや情報誌発行による情報提供の研究。暮らしの中で3R(Reduce・リデュース発生抑制、Reuse・再利用、Recycle・リサイクル・再生利用)を実践するための場として、おもちゃの病院や傘修理、各種講座等114回開催した。								
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)		
	予算現額			7,813	6,146	5,622		
	決算(見込み含む)			6,606	5,420			
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(0.00 人)	(人)	(人)	(0.80 人)			
	正規職員人件費	2.50 人		21,803	1.42 人	12,297		
	事業費合計			28,409	17,717	5,622		
財源内訳	一般財源	28,409		17,717	5,622			
国・県支出金	0		0	0				
その他()	0		0	0				
実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	来館者数	リサイクルふれあい館・東所沢エコステーション来館者数	人	32,965	32,917	33,500	35,000
		講習会参加人数	参加者数(延べ人数)	人	4,295	5,584	6,000	7,000
成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	循環型社会への関心度 環境に配慮した生活を実践するための講習会参加人数	来館者数	人	39,000	39,000	39,500	42,000
			講習会参加者数(延べ人数)	人	37,260	38,501	<input checked="" type="checkbox"/> 実績 拡大図る <input type="checkbox"/> 実績 縮小図る	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	96	99	どちらかをチェックしてください	
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	エコロまつりなどの催事開催日数を増やし、市民に対してリサイクルふれあい館のPRを図った。			来館者数において、再生家具の頒布に来館される市民が、民間事業者(リサイクルショップ等)の進出もあって減っているため。				
評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	さらに「もったいないの心」を推進し、啓発していくため展示内容の見直しを行う。		
		次年度予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持	理由	子供たちや市民が参加できる体験型の展示を増やしていく。			
備	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性				
	リサイクルふれあい館が環境についての学習施設であることから、啓発用展示コーナーのレイアウト変更などを実施し、市民にわかりやすく環境について学んでもらえるよう取り組んでいる。			市民が来館して楽しかったと思ってもらえるように、各種催事や啓発用展示物の充実などを図っていく。				
評価日	H28.8.5		評価者職氏名	資源循環推進課長 池田 淳				
環境影響	有益な環境影響	2-1ごみの発生・排出の抑制(リデュース)		2-2リユース・リサイクルの推進		有害な環境影響を及ぼす原因活動	規制を受ける環境法令等	無
		6-2環境教育・環境学習の充実					緊急事態	無